

動詞 regarder と共起する副詞表現について

木島 愛
(千葉工業大学)

フランス語の視覚を表す動詞 **regarder** が使用される際、様々な副詞表現と共起することから、**regarder** と共起しやすい副詞表現を中心に、統辞的観点、意味的観点から分析を行う。

まず、辞書に記載されている **regarder** が慣用表現、定表現と言われる「凝結表現」を全て抽出し、コーパスにおける実際の使用と比較すると、様々な違いが見えてくる。凝結表現として記載されている表現の他にも、出現頻度の高い副詞表現は数多くあり、さらに、類似表現も数多く存在する。そのような副詞表現を分析対象とし、複数存在する類似表現の違いを探る。例えば、次の様な場合である。

- (1) a. Alors j'ai sorti mon revolver et je le lui ai montré. Elle m'a regardé d'un air sérieux et elle a laissé tomber son pantalon sans rien dire. (*Le mur*)
b. Elle m'a regardé avec sérieux...
c. Elle m'a regardé sérieusement...

この場合、(1a) で用いられている *d'un air* + Adj. をそれぞれ対応する (1b) *avec N* や (1c) 副詞に置き換えることができる。しかし、このような置換には制約がある場合が存在する。また、このような副詞的表現に加えて、

- (1) d. Elle m'a regardé, sérieuse, ...

のように、名詞のみでの置換えも可能であることを示し、これらの表現に共通する意味的作用にも着目し、使用頻度の高い表現を中心に、使用の制約条件を追求する。